



ため池ハザードマップへの活用について紹介します

今回紹介する団体: 水土里ネット香川

(1/2)

取組概要

内容: 平成23・24年度に独自開発した「水土里ネット香川ため池氾濫解析支援システム」を使用して氾濫解析(二次元不定流解析)を行い、その出力データ(シェープファイル)を元に水土里情報データと融合し、各種氾濫解析図、ハザードマップ等に活用。

経緯: 東日本大震災を受け、平成23年度から市町が事業主体となり推進している「ため池ハザードマップ作成業務」(ため池農地災害危機管理対策事業)を支援するため、その仕様に合致するシステムを構築する必要があった。

基礎情報データ(水土里情報データ)

筆図(粗度係数決定のため、地目が必要)

デジタル標高(DEM)、地形図(DM)

システムの概要: 10mメッシュ

デジタル標高・粗度係数の修正可能

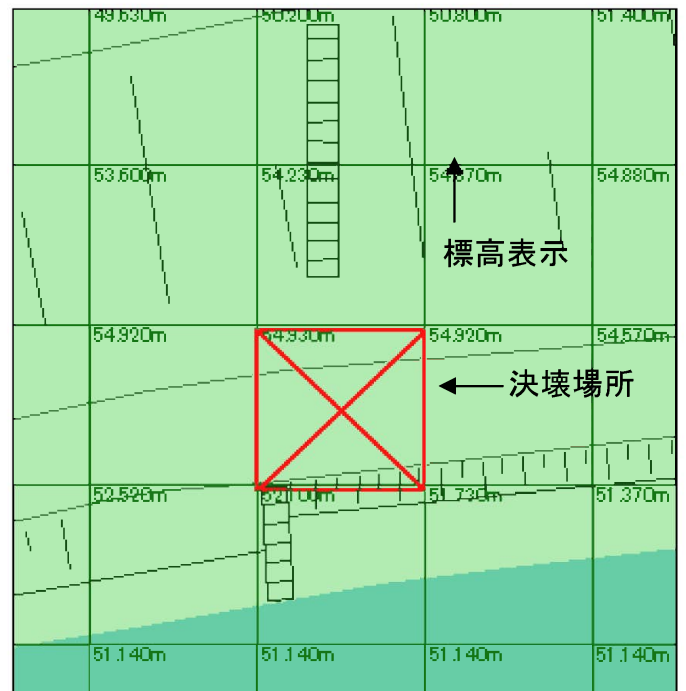
決壊場所の指定可能、解析時間の制限なし

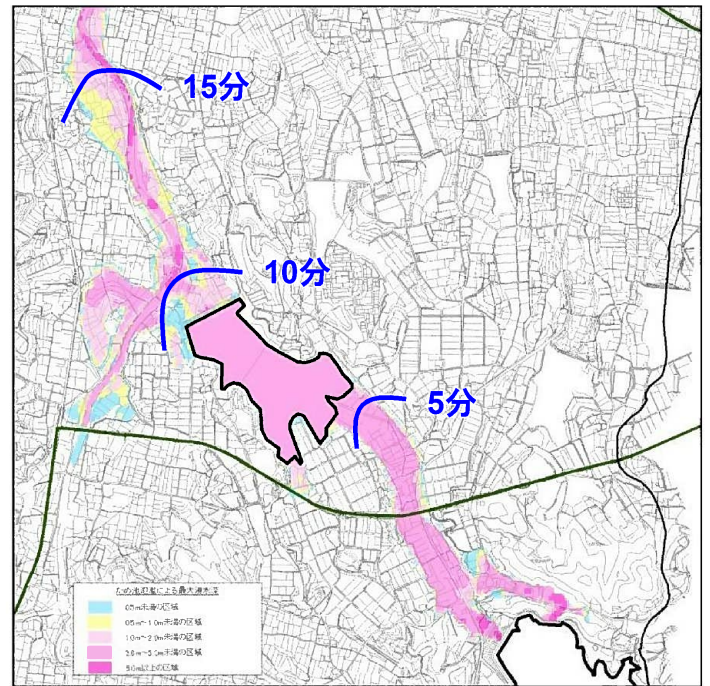
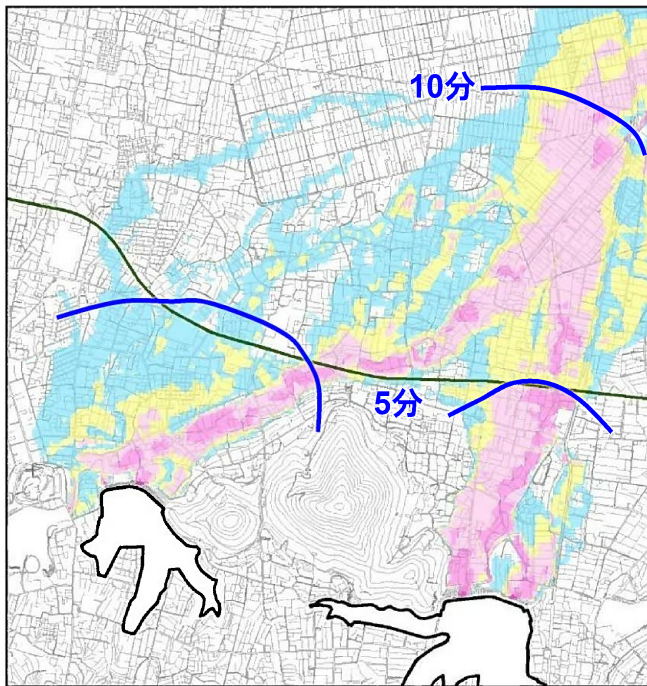
複数ため池の同時決壊、連鎖決壊処理が可能

出力属性 水深、流速、到達時間 等

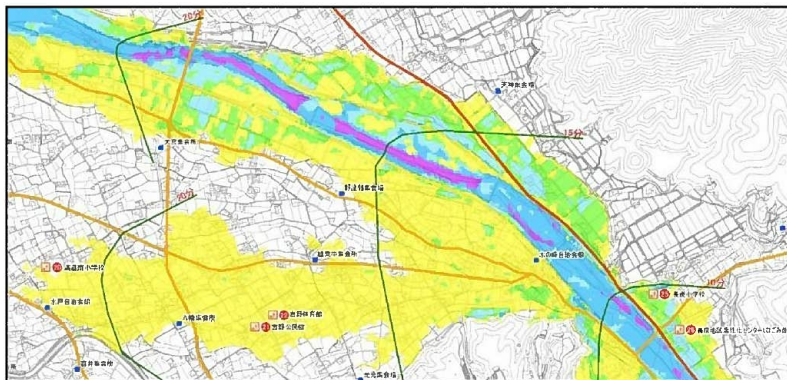
システム初画面

決壊場所(1メッシュ選択画面)





ハザードマップ



作成図面

浸水想定区域図、流速図、歩行困難度図

家屋倒壊危険区域図、ハザードマップ

表示項目

浸水想定区域、避難所・集会場

幹線道路、軌道、洪水到達時間 等

期待される効果

GISソフトで活用可能な氾濫解析結果(シェープファイル)を用いるため、水土里情報データとの融合も簡単にでき、かつ、具体的に画面上でその状況が把握できる。

今後の活用予定

今後、市町からの要請により対象のため池を現地調査の上、氾濫解析を行い、現地調査との差異を確認し、できる限り現実に即したハザードマップ作成を目指す。

■お問い合わせ先

香川県土地改良事業団体連合会 電算課

087-822-0303

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)